

# 生活苦不安「感じる」58%

## 本社世論調査 宣言後「外出自粛」76%

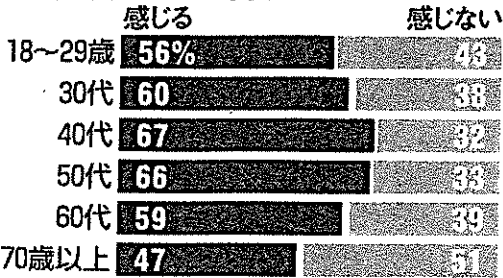
18、19日に実施した朝日新聞の全国世論調査（電話）では、新型コロナウイルスの感染拡大で生活が苦しくなる不安について尋ねた。不安を「感じる」と答えた人は58%で、「感じない」40%を上回った。前回3月調査の「感じる」46%、「感じない」52%から逆転した。▼1面参照

生活が苦しくなる不安を「感じる」人は40代と50代が多かった。40代男性で65%（前回3月調査は40%）、40代女性で69%（同58%）、50代男性で61%（同48%）、50代女性で70%（同54%）にのぼった。

職業別では、製造・サービス従事者層で68%（同53%）、自営業者層で67%（同55%）が、不安を「感じる」と回答した。

緊急事態宣言を受けて、宣言前より外出を自粛するようになったか尋ねると、「自粛するようになった」

生活が苦しくなる不安を…



その他・答えないは省略

た」76%が、「これまでと変わらない」24%を上回った。

「自粛するようになった」と答えた人は若い世代に多い傾向で、18〜29歳は81%、30代80%、40代81%だった。地域別では、7日に対象区域となった東京、大阪など7都府県は80%、他の40道府県は72%だった。

一方で、首相が求める「人と人との接触機会を7割から8割削減」を自分自身ができると思うかを聞く

と、「できる」55%、「できない」41%となった。東京都は「できる」63%、「できない」33%で、大阪府は「できる」49%、「できない」42%だった。

男女別で見ると、女性は「できる」59%、「できない」35%に対し、男性は「できる」50%と「できない」47%が拮抗した。

「できない」と答えたのは、年代別では40代が49%と最多だった。職業別では、製造・サービス従事者層で54%、事務・技術職層で45%にのぼった。

感染拡大で外出自粛やイベント中止が広がることにストレスを感じるかを尋ねると、「感じる」は40%（同33%）で、「それほどでもない」は58%（同65%）だった。ストレスを「感じる」は、若い世代で比較的多く、18〜29歳は50%、30代は49%だった。